

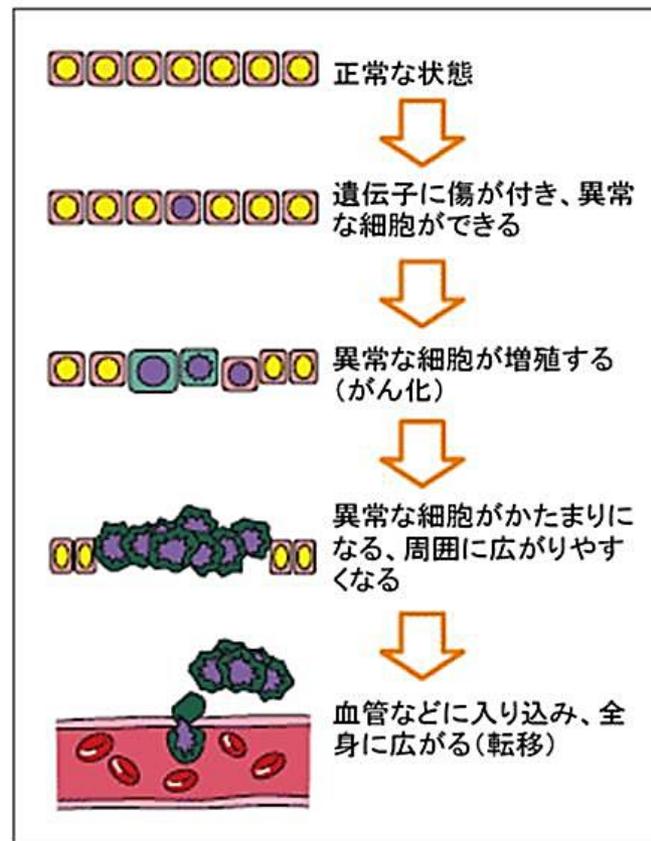
がんという病気を知っていますか？

岡山医療センター 消化器外科(大腸)
國末浩範(くにすえ ひろのり)

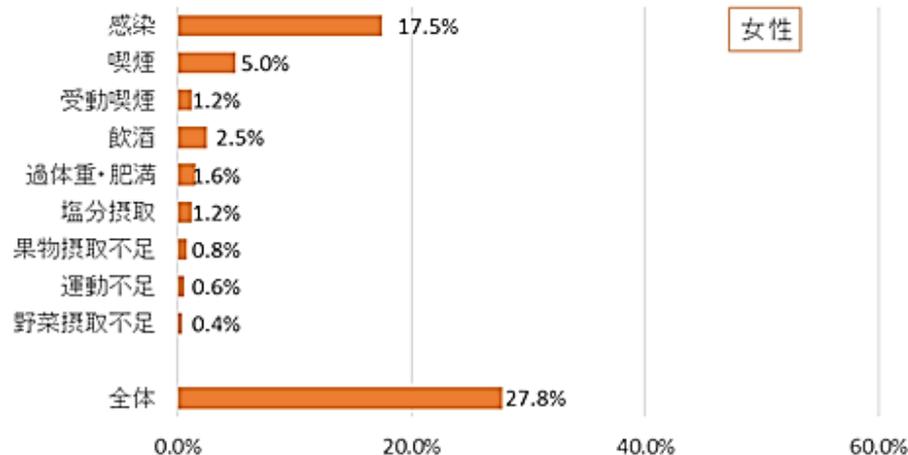
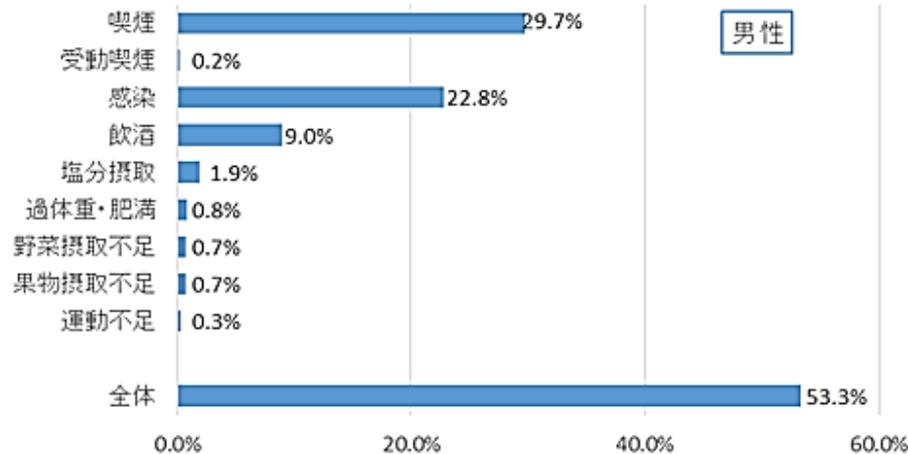
1. **がんはどのような病気でしょうか？**
2. **我が国におけるがんの現状**
3. **がんの経過と様々ながんの種類**
4. **がんの予防**
5. **がんの早期発見とがん検診**

がんとは？

正常の細胞の遺伝子に傷がついてできる
異常な細胞のかたまりのうちで悪性なもの



がんの主な要因



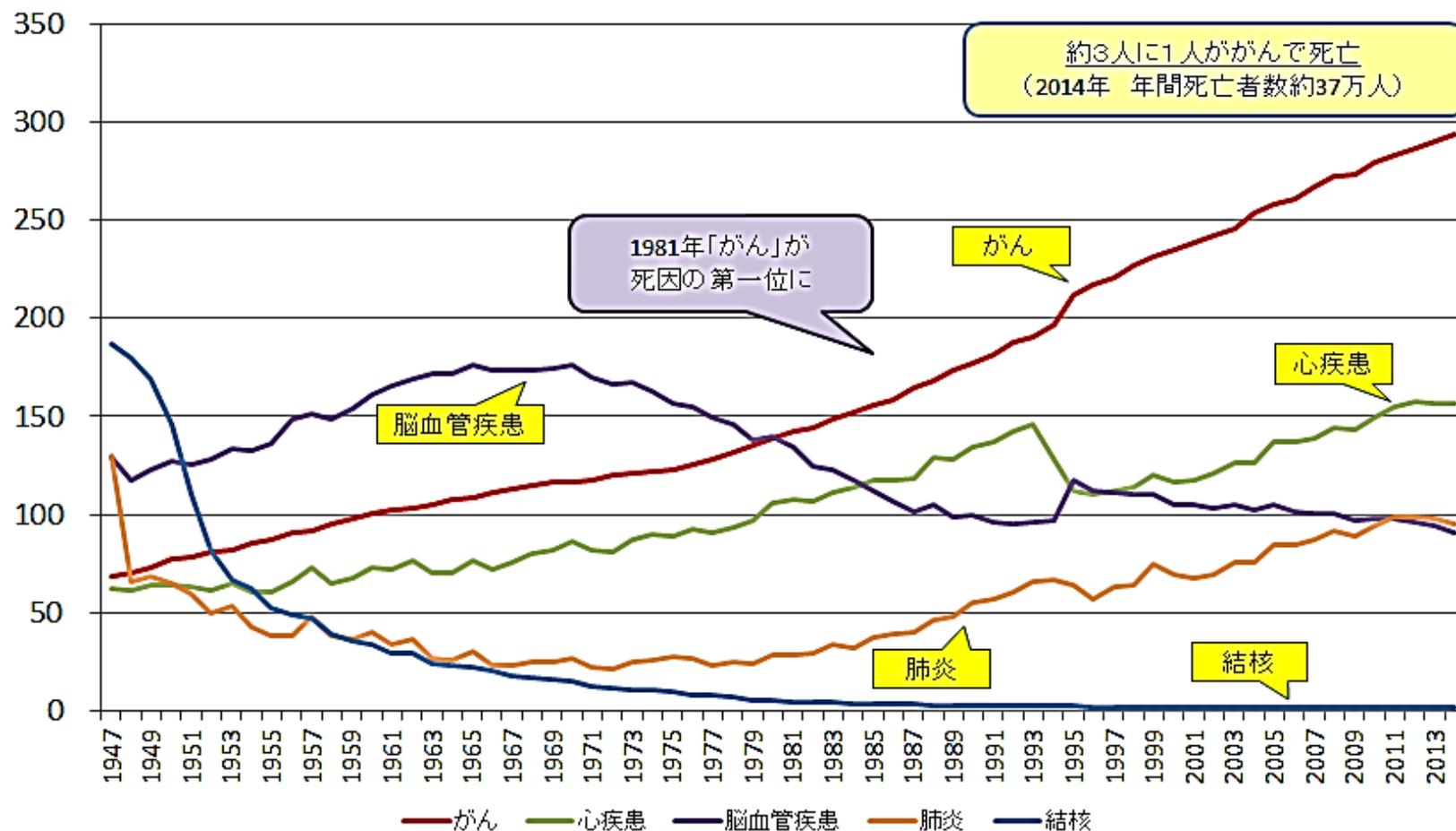
※ 棒グラフ中の項目「全体」は、他の項目の合計の数値ではなく、2つ以上の生活習慣が複合して原因となる「がんの罹患」も含めた数値です。

1. がんはどのような病気でしょうか？
2. 我が国におけるがんの現状
3. がんの経過と様々ながんの種類
4. がんの予防
5. がんの早期発見とがん検診

がんは日本人の死因の第一位

我が国における死亡率の推移(主な死因別)

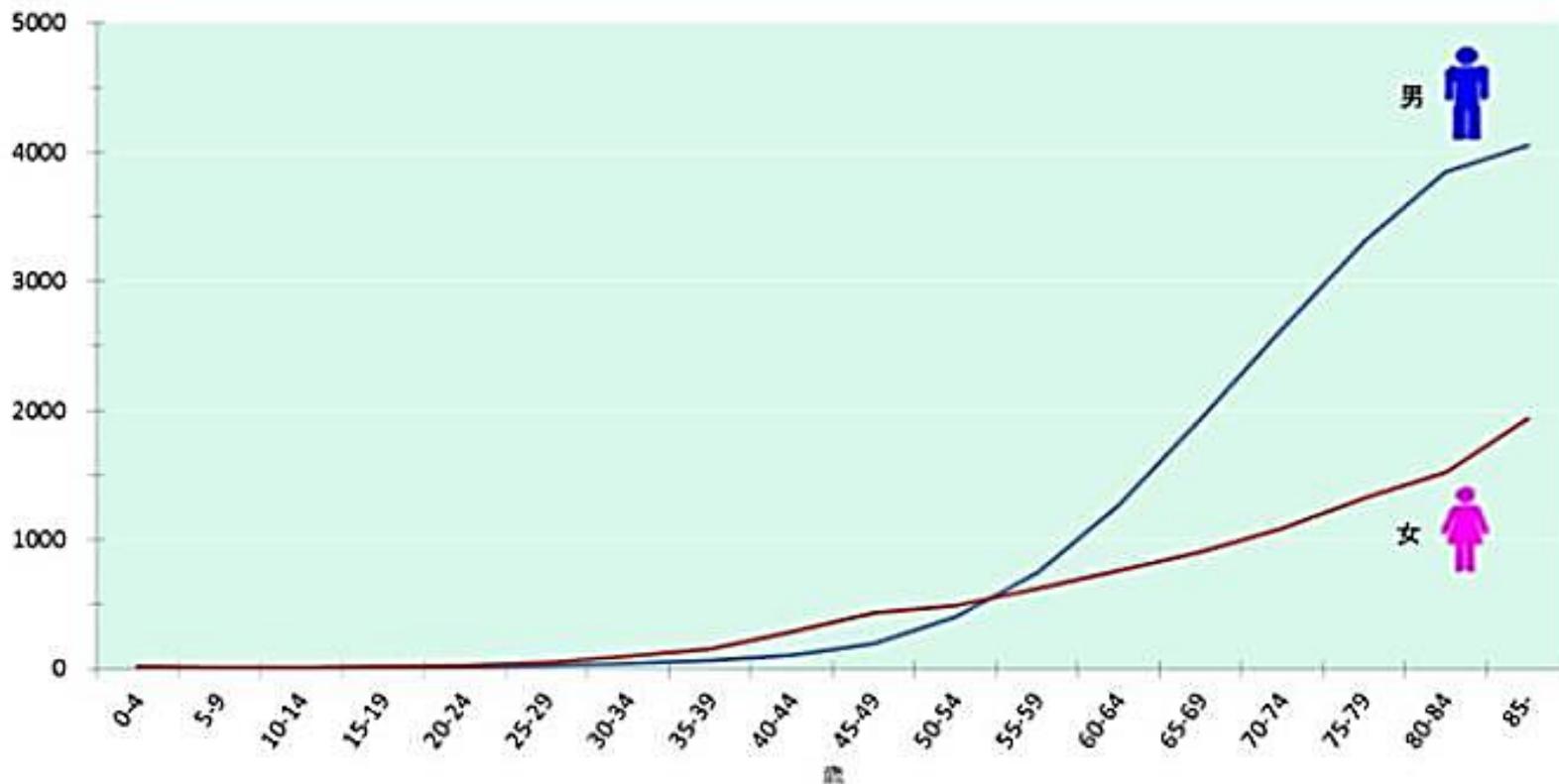
人口10万人対



がんの罹患率は年齢があがるにつれて増加する

年齢階級別罹患率
[全部位 2011年]

人口10万人対



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

1. がんはどのような病気でしょうか？
2. 我が国におけるがんの現状
3. **がんの経過と様々ながんの種類**
4. がんの予防
5. がんの早期発見とがん検診

がんの経過

がんは早期発見がカギです

昨年のがん検診で異状がなくても、今年
の検診で、がんが発見されるかもしれ
ません。

がんが大きくなり、検
診で発見できる時期。

最悪の場合
がんにより死亡

正常細胞

がん細胞に変化



がんが小さいため、
発見できない時期

出現
自覚症状の

※この図は、がん進行の
イメージ図です。がんの種
類および年齢を含め、個
人差があります。

自覚症状が出るまでに見つけた早期がんの約9割は治すことができます!

図1.がんの進行の例（鳥取県 とっとり健康家族ポータルサイト）

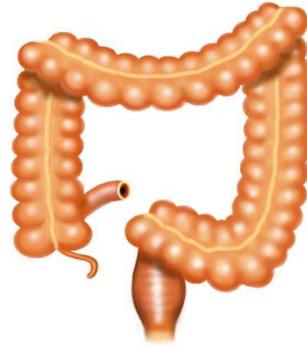
(https://kenkokazoku.pref.tottori.jp/modules/check/index.php?content_id=1)

主ながんの種類

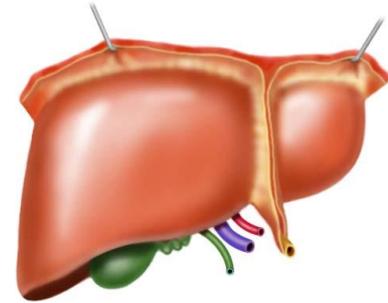
胃がん



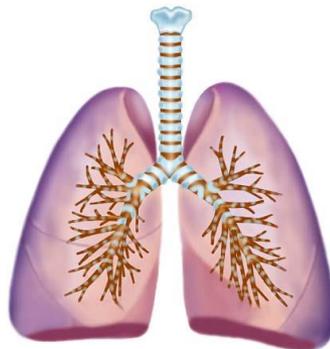
大腸がん



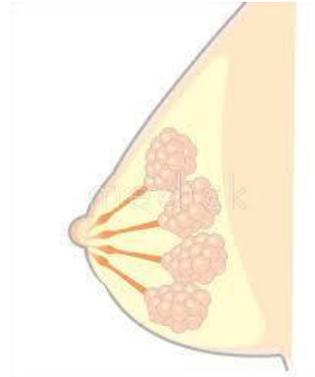
肝がん



肺がん



乳がん



2014年の死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

2012年の罹患数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	大腸	肺	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

がんの5年生存率

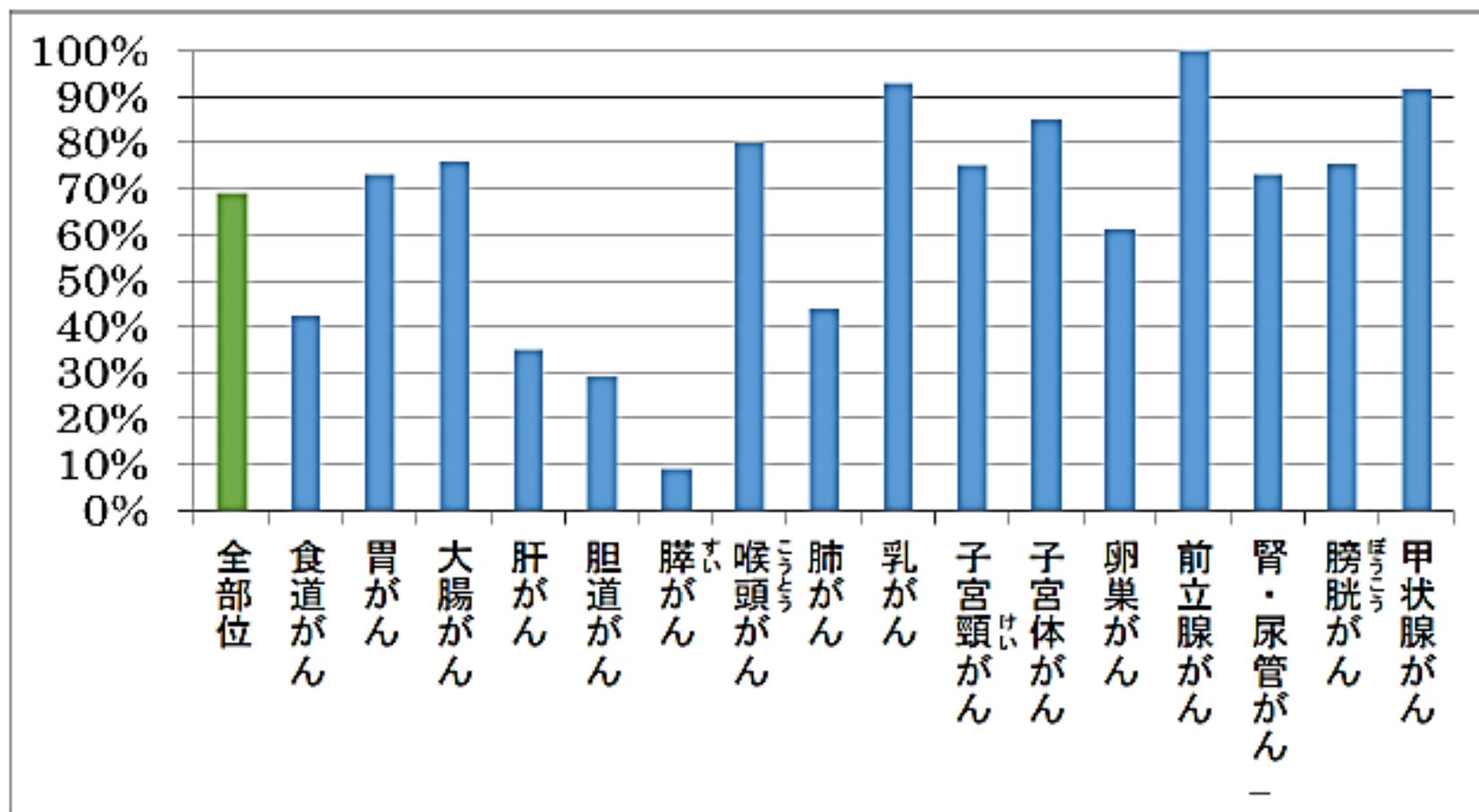


図2. がんの5年生存率^(※3)(全国がん(成人病)センター協議会 2004年-2007年診断例)

1. がんはどのような病気でしょうか？
2. 我が国におけるがんの現状
3. がんの経過と様々ながんの種類
4. **がんの予防**
5. がんの早期発見とがん検診

がんの原因は一つではない

- 生活習慣
- 細菌・ウイルス感染
- 持って生まれた体質（遺伝素因）

これらのどれか一つが原因となるのではなく幾つかが重なり合った時にがんとなる可能性が高まる

望ましい生活習慣

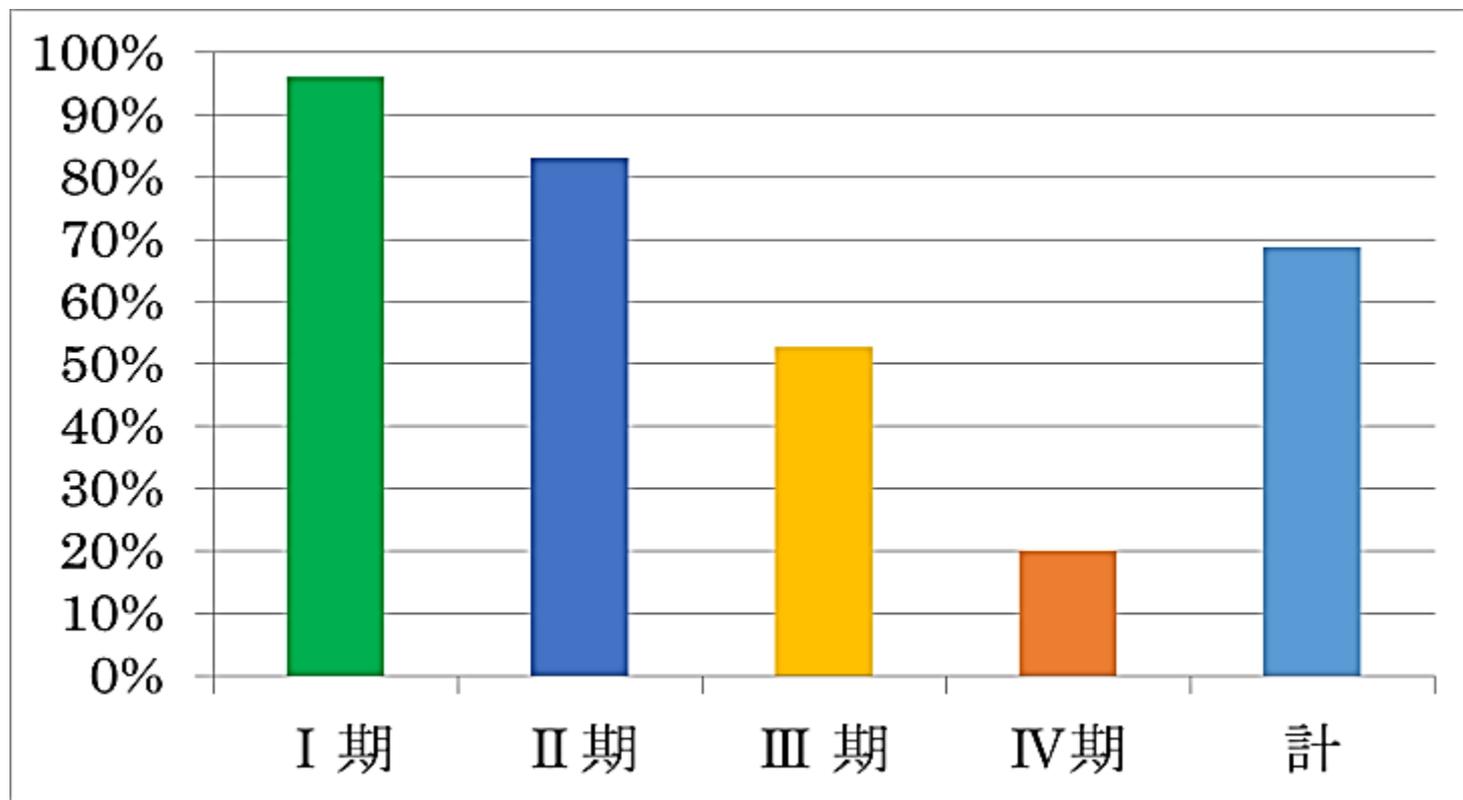
5つの健康習慣を実践することで
がんになる危険性が低くなります



※国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究グループ
科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究
http://epi.ncc.go.jp/can_prev/

1. がんはどのような病気でしょうか？
2. 我が国におけるがんの現状
3. がんの経過と様々ながんの種類
4. がんの予防
5. がんの早期発見とがん検診

がん検診による早期発見の重要性



がんの進行度別に見た5年生存率
(全国がん(成人病)センター協議会2004年-2007年診断例)

国が推奨しているがん検診の対象年齢と検診間隔



胃がん検診
胃バリウム検査

対象年齢：40歳以上
受診間隔：年1回



大腸がん検診
便潜血反応

対象年齢：40歳以上
受診間隔：年1回



肺がん検診
胸部レントゲン

喫煙者は併せて喀痰検査
対象年齢：40歳以上
受診間隔：年1回



乳がん検診
視触診

マンモグラフィー検査
対象年齢：40歳以上
受診間隔：2年に1回



子宮頸がん検診
細胞診

対象年齢：20歳以上
受診間隔：2年に1回

図2:山梨県 平成 26 年度高校 1 年生学習活動用リーフレット

(URL: <https://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/seizinhoken/documents/koukou1.pdf>)

我が国におけるがん検診の課題

男女別がん検診受診率(40～69歳)2013年

国民生活基礎調査より過去1年の受診有りと回答した者の割合

